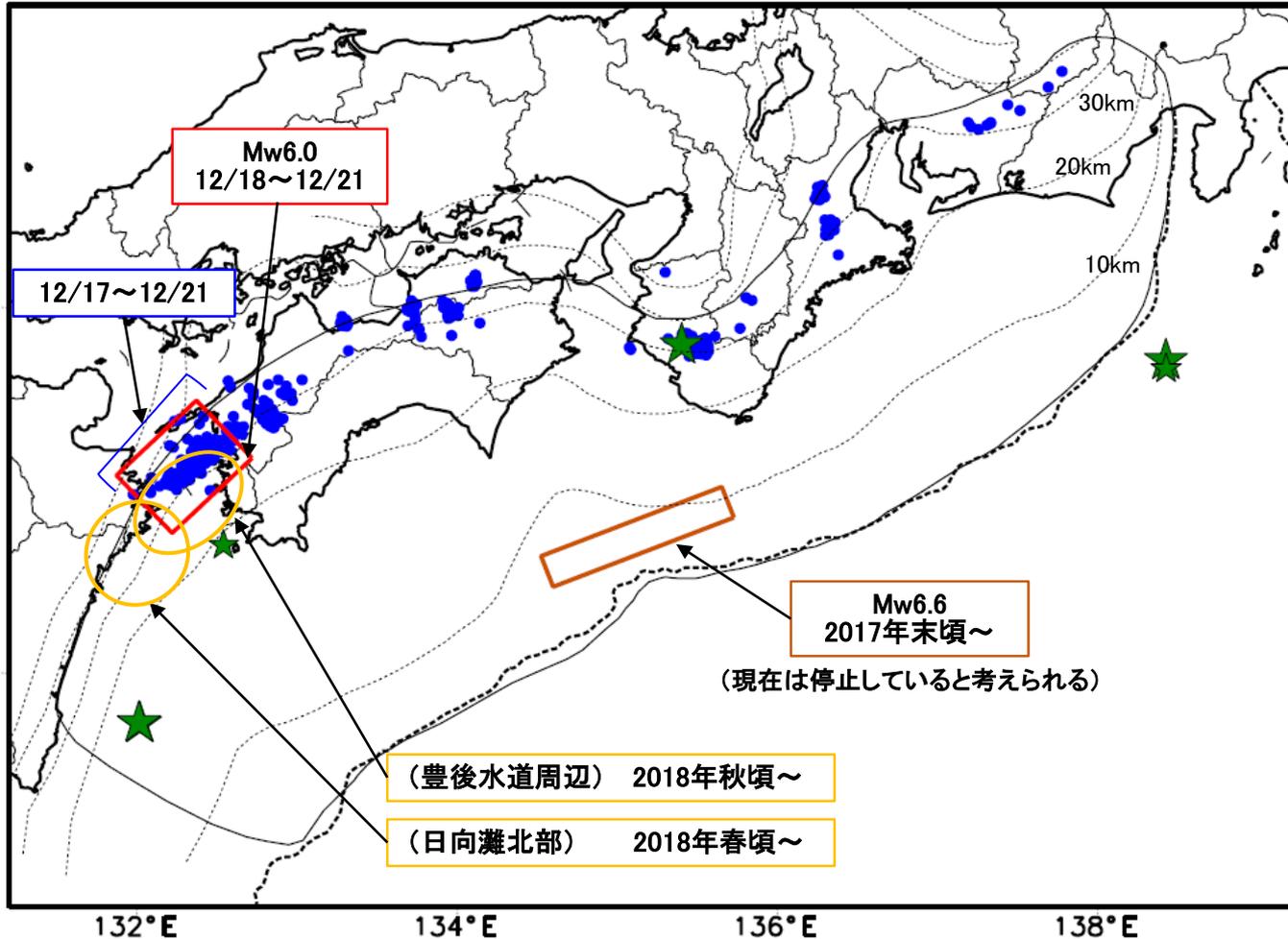


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2018年12月1日～12月31日

100km



- 緑(★): 通常地震 (M3.5以上)
- 青(●): 深部低周波地震 (微動)
- 赤(□): 短期的ゆっくりすべり
- 黄(□): 長期的ゆっくりすべり
- 茶(□): ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常地震 (M3.5以上)..... 気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震 (微動)..... 気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり..... 【四国】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり..... 【日向灘北部】【豊後水道周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
 ゆっくりすべり..... 【紀伊水道沖】海上保安庁の解析結果による。

平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 1 月 10 日 09 時の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
12/3	17:08	和歌山県北部	48	4.0	3	フィリピン海プレート内部
12/6	04:48	東海道南方沖		4.2	1	フィリピン海プレートの地殻内
12/8	08:33	日向灘	31	3.9	2	フィリピン海プレート内部
12/24	04:22	東海道南方沖		3.5	1	フィリピン海プレートの地殻内
12/25	14:44	日向灘	26	4.1	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと考えられる
12/25	15:33	日向灘	27	4.0	1	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと考えられる

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 11月30日～12月1日 12月4日～5日 12月18日～21日 12月23日 12月26日～27日 12月31日 1月2日～4日 ■四国中部 12月8日～9日 12月15日 12月22日 1月6日 ■四国西部 11月30日～12月6日 12月10日～13日 <u>12月17日～21日</u> ・・・(1) 12月23日～24日 12月27日～30日 1月2日～3日 1月5日～(継続中)	■紀伊半島北部 12月8日 12月18日 12月31日～1月1日 1月9日 ■紀伊半島中部 12月27日 ■紀伊半島西部 12月3日 12月10日 12月12日～13日 12月17日～18日 12月31日～1月2日 1月9日	12月16日～17日 12月23日～26日 12月28日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を **赤字** で示す。

※上の表中（1）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

※平成 31 年 1 月 9 日以降の地震の震源要素は今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成